

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 3 年 2 月 22 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490200601		
法人名	サンキ・ウエルビィ株式会社		
事業所名	サンキ・ウエルビィ グループホーム江波		
所在地	広島市中区江波二本松1丁目10番3号 (電話) 082-208-5237		
自己評価作成日	令和3年1月23日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490200601-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和3年2月18日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

サービス付高齢者住宅・小規模多機能センターを併設する多機能型住宅である特色を活かして、ウエルビィ江波全体が、安心して暮らせるコミュニティースペースとなっています。その中で暮らす人々と職員が共により良い関係を構築しながら、利用者のペースで過ごせる心地よい居場所を提供できるよう努めています。「認知症であっても、不安なく穏やかに過ごせ、自分の居場所がある生活」を職員と一緒に日々積み重ねて行けるよう心掛けています。地域の方々とも、『いきいき100歳体操』『季節行事』等を通じて交流を重ねながら、安心そして信頼して、認知症の不安や介護相談をして頂ける、地域住民に認められる事業所を目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

最近の特徴的な取組みとして第一に「馴染みの人や場との関係継続の支援」に深化が見られる。即ちコロナ禍による面会制限下の中、家族とは主に電話連絡等を介した関係継続だが家族の要望で事業所交流スペースでの予約制面会が少人数ながら実現し利用者の顔を見て喜ぶ家族の姿があった。第二に「本人と共に過ごし支えあう関係」に深化が見られる。即ち利用者の理解できない所で生活空間が狭まったが、季節行事に工夫を凝らし恒例のお茶会では全館から事業所内に限定し緩やかに開催したり、日常的な「役割、楽しみごとの支援」で手作りおやつや脳トレク等を工夫して「笑顔あふれる瞬間」の創出に努めている。第三に「事業所と地域とのつきあい」に深化が見られる。即ち地域交流の推進として季刊広報誌「かわら版～笑婆」を発行し、近隣スーパー等で配布してもらおうと忽ち増刷、好評で認知症の人の声、見える世界の理解の一助に繋がった。

自己評価	外部評価	項目(ユニット1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	企業理念「福祉事業を通じて地域社会に貢献する」施設理念「心地よい居場所を提供します」「笑顔あふれる瞬間を創造します」「温かく支えあえる仲間を増やします」そして6Sの推進「整理・整頓・清掃・清潔・躰・作法」を継続して実践する事で、更なる品質向上に挑戦し、地域社会に貢献できる事業所を目指しています。	前管理者・職員で策定した事業所理念を掲示・唱和してケア実践上の原点としている。理念実現の為に必要な具体的な五つの課題領域について各職員はチャレンジ目標を設定し年度末にブロック長との個人面談で振り返り、気づきを促す中で理念の達成度を検証している。常に利用者の立場に立って適切な対応を取れる人材育成に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入し、秋祭り・南の風等、地域行事にスタッフ共々参加させて頂く事で、地域の一員としての交流を行っていましたが、今年度はコロナ禍にあり、施設行事の納涼祭・収穫祭・敬老会が中止となり、運営推進会議でご意見を頂くと言う交流を行ってきました。	現在はコロナ禍による外出自粛中だが、本来は日頃から近隣への散歩・買い物や町内会にも加入し、地域行事への参加の他、初詣・花見等の季節行事で交流している。又、母体施設主催の茶会等も含め、事業所で多くの地域住民と相互交流もある。更に地域中学生の職場体験他の世代間交流もある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	「認知症」が特別な事では無く、誰でもなりうる可能性があり、地域の方々の理解や支援が必要な事を運営推進会議等を通じて地域に発信しています。高齢者のいきいき活動としての介護予防活動である「いきいき百歳体操」を毎週月曜日に開催していますが、地域の方々が参加できない状況が続いています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	二か月に1回、運営推進会議を開催し、地域住民の方々、地域包括、訪問看護事業所の参加を頂き、運営状況・取組み状況を報告させて頂き、身体拘束適正化委員会の開催を合わせて行いご意見を頂いていましたが、今年度は、状況報告と照会にてご意見を頂き、サービス向上に努めています。	最近の会議はコロナ禍による自粛で書面による事前照会だが、本来は併設の小規模多機能型居宅介護と合同で定期的で開催され、地域包括支援センター職員・町内会長・民生委員・牧師等、地域住民が参加している。会議では身体拘束状況等、活動報告や意見交換が行われ、感染予防に向けた消毒法の助言例もある。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	介護保険課には、運営上の相談事や疑問点等、随時、助言を頂いています。行政からの研修参加も積極的に参加し、スタッフ一人ひとりのスキルアップに努めています。	現在は市町担当者に運営推進会議資料を送付して情報共有をしている。市町担当者とは日頃から相談や報告を行い行政主催の虐待・集団指導等の研修会への参加を通して協力関係の構築を図っている。又、広島市が介護予防拠点で行う運動として推奨している「いきいき百歳体操」を定期的開催し地域貢献をしている。	

自己評価	外部評価	項目(ユニット1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	法人全体で、「身体拘束適正化のための指針」を設け、基本的な考え方の明記と年度に2回、身体拘束の排除と虐待防止の研修を開催し、身体拘束の弊害と悪循環について理解・認識しています。玄関の施錠をせず、身体拘束を行わない事がよりよいケアに繋がると理解し、取り組んでいます。	研修会等を通して職員は「拘束をしない」必要性を認識し、具体的なケアの中で実践を重ねている。日中は玄関を施錠せず見守りをしたり、鈴・床センサーマット等を設置している。運営推進会議の中で身体拘束適正化委員会の取り組みを毎回報告・検証している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	年度2回、「虐待防止」の研修に全スタッフが参加し、虐待の種類や早期発見の重要性を伝え、行政で開催される研修に必ず参加し、虐待を許さない風土作りに努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見人制度の利用があった利用者の事例等を共有し、個別の状況把握に努め、必要性を把握し、情報提供を行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時、利用者家族の不安や施設での生活で起こり得る事柄について説明を行い、疑問点を伺い、お伝えし、納得頂いた上で、署名・捺印頂いています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族に参加頂く行事を年6回、家族会を年1回開催しています。施設へのご意見・要望をお聞きし、サービスに反映できるように努め、頂いたご意見・要望を運営推進会議開催時に、参加者に発表していましたが、今年度は、照会で報告させて頂いています。	家族とは面会・介護計画更新時・年1回の家族会等で意見を把握し伝達ノート他で情報共有をしている。現在はコロナ禍の面会自粛で随時家族と連絡し迅速な対応に努めている。運営推進会議録を家族に送付し情報共有をする中で要望等の照会をしている。絵本に興味を示した利用者の為家族に本の依頼をした例がある。	

自己評価	外部評価	項目(ユニット1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月の拠点会議・各ユニット会議で意見交換し、利用者の満足度向上を含め、職員のやりがいのある職場作りとして職員の意見・提案を運営に反映させるようにしています。</p>	<p>法人内のエリア会議、事業所内の全体会議・ユニット会議、管理者等との定期・随時の個別面談等で意見を聞く機会を設け、介護方法・業務上の提案や職員目標の進捗状況等に対する支援体制を採っている。職員提案で利用者の重度化に伴う入浴ケアにリクライニング機能付きシャワーキャリーを導入した例がある。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>管理者として、職員一人ひとりの健康管理も含め、職員の勤務状態を把握、職員間の人間関係によるストレスの解消や、定期的な面談を行い、職員各自の仕事に対する役割等の環境整備にも努めています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>管理者として、ユニット業務に入り、職員一人ひとりのケアの力量を把握し、直接指導や外部研修の参加を促し、個々の介護技術向上に努め、介護福祉士・介護支援専門員・実践者研修の受講等を推進しています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>近隣のグループホーム間でお互いの施設の見学や、業務内容を話し合う交流を推進し、勉強会等の場で交流ができるようにしてきましたが、研修会等が中止やリモートに替わってきましたので、参加を促せるよう努めています。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前の本人様面談や、家族様から今までの生活、どんな事が不安なのか、どんな生活がしたいか等、じっくりとお話を伺い、傾聴し提案をしながら、関係作りに努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(ユニット1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居申込をして頂いた後、定期的に状況の確認連絡を入れ、現状の確認と困り事や不安などのお話を伺い、関係作りを行った上で、入居時には、これからご入居までの流れを説明し、分からない事を何でも聞いて頂けるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人様の状況や家族様の思い等、どんなサービス利用の提案が必要か等を見極め、適切なサービス利用及びサービス提供ができるよう提案・助言に努めています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>生活の場である環境の中で、利用者のできる事、やりたい事を無理の無い自然な形で、助け合い、お互いを尊重し合い、そんな毎日の積み重ねで信頼関係が作れるよう努めています。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>本人様と家族様の想いを理解し、家族様へは、グループホームでの状況報告を毎月行い、認知症の進行や病状の相談をしながら、共に本人様を支える関係を築けるよう努力しています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうよう、支援に努めている。</p>	<p>近所の方々の面会や親戚の方々の面会等、来られた時には懐かしい昔話を一緒に聞かせて頂き、地域行事の様子を共に懐かしみながら、関係性の継続に努めています。</p>	<p>「気軽に訪問できる事業所作り」「地域との絆」を大事にしており、馴染みの美容院・実家での法事・喫茶店等を通して馴染みの場所で馴染みの顔や声と何気ない日常を楽しめる様に支援していた。現在はコロナ禍による面会制限下、病院受診時のみ外出可能の他、医療連携を密にして予約制の面会を実施した例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項 目(ユニット1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様の性格や個性を把握し、コミュニケーションがスムーズにできるよう努め、毎日の朝の会、レクリエーション時に共に笑顔の時間が作れるよう努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス終了後に事務連絡含め、家族様の労を労い、入居中の振り返りと思い出話をして、何かあればいつでもご連絡下さい、と伝えています。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様の思いに耳を傾け、生活リズムを考慮しながら、本人様の思いに近づけるように努め、思いを伝えられない状況の時は、自分ならどう思うかを考えながらスタッフ間で共有し支援しています。	利用者毎に担当を決め、利用者の習慣や好み等の基本情報を基にその後はその方に深く関わりを持つことで思いを汲み取り、家族情報も参考にしつつ伝達ノート等で共有をしている。寝たきりが懸念される利用者をフロアで他の方と過ごして頂く事で表情が和らぎ、喜びの言葉も聞けるようになった経緯がある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	在宅生活中に在宅サービスの利用があった場合、関係各所より情報提供頂き、家族様より、これまでの生活歴、生活環境、趣味等をお聞きし、グループホームでの生活に反映できるよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日常の関わりの中で、何が出来て何に困っておられるかを把握し、どんな事が好みで、どんな時に不安感を持たれるのかを観察し、情報共有に努めています。		

自己評価	外部評価	項 目(ユニット1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>計画作成担当者がアセスメントを行い、本人様・家族様の意向を踏まえ、主治医、看護職、介護職、それぞれの意見を反映し、日々の生活に合った介護計画書を作成しています。</p>	<p>リーダー他の職員が収集した情報を基に計画作成担当者が立案し、担当者会議で検討・家族の同意を得て本案としている。半年を基本にモニタリング・計画の見直しをしている。不安感強く尿道管留置だった利用者に医療と連携した排泄ケアや読書を動機付けに生活の活性化を図りトイレでの排泄に繋がった例がある。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の出来事の記録や気づきを支援経過に記入し、毎日の申し送り時に情報共有を行い、利用者様の現状に合った目標を検討し、随時、介護計画書の見直しに活かしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ウエルビィ江波の特長を活かし、グループホーム単独ではなく、館内をコミュニティと捉え、施設行事等で交流する中で、他のセグメントの意見を取り入れながら、既存のサービスに捉われない取り組みを行っています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域行事の参加に加え、近所への散歩、ドライブ等、近所にお出掛けして季節の変化を感じて頂き、江波中学校の生徒による体験学習では、生徒とのコミュニケーションを楽しむ機会がありましたが、今年度は、コロナウイルスから、利用者を守る事に注力しました。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>かかりつけ医は、利用者様・家族様の希望により決定し当施設のかかりつけ医は休診日以外、毎日のように往診され安心して適切な医療を受ける事ができます。他の医療機関への受診が必要な場合は、看護師付添いによる受診も行っています。必要に応じ歯科・眼科・皮膚科・整形外科の受診の対応も行っています。</p>	<p>希望があればこれまでの主治医の継続も可能だが、殆どの方は協力医からほぼ毎日訪問診療を受けている。専門医の受診は適宜事業所でも対応している。非常勤兼務の看護師2名の配置もあり、日常的な健康管理や診療の補助を担っている。法人系列の協力歯科医から2週に1回の訪問診療もある。</p>	

自己評価	外部評価	項 目(ユニット1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	当施設には、看護師二名の配置があり、主治医往診時の対応や、介護職員からの利用者様の変化や気づきを専門職の観点から主治医に報告・指示を受けたり、介護職への伝達を行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者様入院時には、グループホームでの生活状況と共に、入院に至った経緯等を介護・看護情報提供書をお送りし、安心して適切な治療ができるよう努めています。同様に退院時も、入院中の情報提供や退院後の注意点等を相談員や看護師から受け、相談ができる関係作りに努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に「重度化した場合の対応に関する指針」として説明し、同意を頂き、署名を頂いています。その後も、家族様・主治医・看護師・介護職と連携を取りながら、利用者様にとって、穏やかな最後を迎えられるよう支援しています。	要望があれば看取りを行なう方針である。契約時に「重度化に関わる指針」で説明・書面にて事前確認をしている。重度化した際には家族等関係者で話し合いを行い書面による同意の下、「対応指針」に基づき適切な支援を行っている。過去に数例の看取り経験もあり、グリーフケアや振り返り会議も行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	全職員は、年1回「緊急時の対応と応急処置」の研修を受講し、緊急時に確認書類（緊急連絡先・既往歴・服薬状況）で対応できるよう完備し、もしもに備えています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署・地域住民参加でウエルビィ江波全館の避難訓練を実施しています。江波地区町内会とは、「災害時相互応援協定」を締結していますので、災害時必要物品を配置しています。	消防署も立ち合い年2回の避難訓練を夜間想定、地域住民等の参加を含め、館内系列事業所と合同で実施している。地域との協力体制も地域自主防災会と「災害時相互応援協定」を交わし、浸水想定区域内の指定退避施設になっている。又、定期的な災害研修・防災備品点検の他、町内会用の備蓄を整備している。	

自己評価	外部評価	項目(ユニット1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	年度に1回、「接遇」「認知症及び認知症ケア」「人権の尊重及び利用者のプライバシー保護」の研修を行い、常に相手の立場に立った声掛けができるよう指導しています。また、介護職員として相応しくない声掛けを許さない風土作りにも努めています。	研修で職員の幅広い知識の習得と資質向上を図る体制もある。尊厳に配慮してケアに関わり利用者に対する言葉かけも不適切な対応には指導や気づきを促している。管理者からの促しも減ってきており、気づきに対する職員間の声かけもめばえつつある。又、業務を離れても個人情報に関わる内容は周囲に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者様、一人ひとりの気持ちをお聞きしながら対応したり、押しつけにならないような声掛けを行い、思いを表現できるように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様の対応が作業にならないように、一人ひとりのペースを把握し、その日の心身の状況に合わせた支援ができるよう努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	随時、訪問理・美容があり、ヘアカラーやカットをされ、その後にお化粧品して頂くのも利用者様の楽しみになっています。毎朝の更衣時には、今日着たい服を選んで頂き、おしゃれを楽しんで頂いています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事は、館内の厨房から提供され、準備の為にテーブル拭きや食後の食器拭き等を職員と共に行い、調理レクとして、手作りおはぎやたこ焼き、パフェ、ぜんざい等を楽しんで頂いています。	館内厨房で調理された食事が出され、軟飯からミキサー食等の食事形態や好みの味付けにも配慮している。コロナ禍で外食は困難だが、手作りおやつ等、調理レクを行っている。プリンターを利用した菜園の苺やきゅうり等を調理している。利用者も食卓・食器のアルコール消毒等、できることを行っている。	

自己評価	外部評価	項 目(ユニット1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	栄養バランスは、厨房の栄養士により管理をお願いしています。水分量は、一日1500CCを目標に10:00・15:00とその間、少量ずつでも摂取量が増えるよう一人ひとりのタイミングを見ながら提供しています。状況に応じ、本人様お好みの飲み物があれば、家族様に相談しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後の口腔ケアを徹底しています。定期的に訪問歯科の診療をお願いし、口腔ケアや治療をして頂いています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	一人ひとりの排泄状況を考慮し、時間毎の声掛け・誘導・確認をする事で、清潔を保ちながら、自立できるよう支援しています。	便座に座ることで排泄感覚を取り戻せるよう、きめ細かい排泄パターンの把握・誘導に努めている。排泄の自立支援として前方支持テーブルを設置し、それに寄りかかり腹部に力を入れ自力で排便し易くしたり、車いすから便座に移乗し易くする環境整備やその方に適したパンツ・パッド導入等の工夫をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	個別の排便管理と対策を取っています。牛乳・ヨーグルト・起床時の水分摂取や下肢の運動、毎日のテレビ体操を行い、便秘予防を心がけています。状況に応じ、主治医に相談し、服薬の調整を行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	曜日や回数の限定を作らず、一人ひとりのタイミングに合わせて支援を行い、状況に応じ、清潔保持ができるよう部分浴・清拭の支援ができるよう努めています。	週2～3回の午後浴が主だが利用者の体調や入浴習慣に合わせて好みの湯温や時間等、柔軟に対応している。利用者の体の負担を考慮し、シャワー浴や清拭で対応することもある。浴槽横の壁面には持ち易い位置に数本の縦手すりやリクライニング機能付きシャワーキャリー等の環境整備の他、冬至の柚子湯も行っている。	

自己評価	外部評価	項 目(ユニット1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	生活習慣や体調に合わせ、随時、休息を取って頂いています。就寝時間も一人ひとりに合わせて対応し、気持ち良く安心して休んで頂ける為の環境を作っています。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	医療機関からの処方によって服薬の管理を二名の看護師が連携を取りながら行っています。利用者様の体調に変化があれば、看護師・主治医と連携を取りながら、支援しています。処方内容に変更があれば、業務日誌内に看護師の記録を行い、介護職員と連携を取り、変化の確認を行っています。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	長年、主婦として家族を支えて来られた利用者様には、洗濯たたみや洗濯干し等を一緒に行って頂く事で自身の役割としてやって下さったり、毎日のレクリエーションの時間に脳トレクや言葉遊び、かるたや棒体操等、楽しんで頂けるよう努めています。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	今年度は、コロナウイルス感染予防の為、面会を予約制とし外出は中止となっています。病院受診時のみ外出可となっていますので、外出を楽しむ機会が作れなくなっています。館内での楽しみやレクリエーションでの活動に力を入れ取り組んでいます。	現在はコロナ禍で予約制面会の他は、病院受診時の外出やベランダでの外気浴以外は自粛している。本来は近隣散歩・買い物や初詣等季節の外出行事、「南の風」江波等の地域行事への参加等、普段は行けないような場所で「非日常」を楽しんだり、家族との夕食等、個別外出支援を行っている。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	金銭トラブル防止の為、基本的には、個人での現金所持は、お断りしています。どうしても所持しないと不安になれる利用者様には、家族様に了解頂き、所持して頂きます。原則は、立替金にて必要な支払いを行い、毎月、月初に立替内容の報告をさせて頂いています。		

自己評価	外部評価	項 目(ユニット1)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	利用者様の希望により、対応可能になっています。お孫様からの贈り物が届いたりした時にお礼の連絡をしたり、年賀状が届いた時に本人様に手渡し、読んで頂いたり、代読させて頂いています。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	リビングには、季節折々の飾りつけを行い、季節感が感じられるような工夫をしています。大きなカレンダーがいつでも目に入るように置かれ、ソファやテーブル・椅子の配置で馴染みの利用者様同士の関係が保てるよう配慮しています。今の時期だと、室温・湿度にも気を配り、感染対策も行っています。	季節の花や正月・七夕等、行事の飾り付けや利用者とする壁掛け作品で季節の移ろいが感じられ、開口部からの採光や汁物・コーヒーの匂い等で居心地の良い生活空間になるよう努めている。フロア内の死角を防ぐようにテーブルを配置し安全な導線を確保している。又、今般の感染症対策で来訪者・職員等の消毒・マスク着用や換気等に万全を期している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ソファの配置を工夫したり、その状況に応じて、話相手ができるように配慮しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	各居室には、使いなれた物や大切にされてきた物を置いたり、家族様の写真を飾ったり、落ち着ける空間作りに努めています。	居室にはベッド・クローゼット等が備え付けられ、ソファ等、使い慣れた物や化粧ポーチ等、好みの物を持ち込み居心地よく過ごせる様にしている。又、利用者によっては夜間排泄時の転倒防止のためポータブルトイレの設置やベッド周りに鈴・床センサーマットを設置している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	転倒された場合でも、怪我を最小限にできるよう、壁にクッション材を張ったり、家具の配置を手で着ける位置に替えたりしながら、安全な移動ができるよう工夫しています。		

V アウトカム項目(ユニット1) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(ユニット2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	企業理念「福祉事業を通じて地域社会に貢献する」施設理念「心地よい居場所を提供します」「笑顔あふれる瞬間を創造します」「温かく支えあえる仲間を増やします」そして6Sの推進「整理・整頓・清掃・清潔・躰・作法」を継続して実践する事で、更なる品質向上に挑戦し、地域社会に貢献できる事業所を目指しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入し、秋祭り・南の風等、地域行事にスタッフ共々参加させて頂く事で、地域の一員としての交流を行っていましたが、今年度はコロナ禍にあり、施設行事の納涼祭・収穫祭・敬老会が中止となり、運営推進会議でお意見を頂くと言う交流を行ってきました。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	「認知症」が特別な事では無く、誰でもなりうる可能性があり、地域の方々の理解や支援が必要な事を運営推進会議等を通じて地域に発信しています。高齢者のいきいき活動としての介護予防活動である「いきいき百歳体操」を毎週月曜日に開催していますが、地域の方々が参加できない状況が続いています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	二か月に1回、運営推進会議を開催し、地域住民の方々、地域包括、訪問看護事業所の参加を頂き、運営状況・取組み状況を報告させて頂き、身体拘束適正化委員会の開催を合わせて行いご意見を頂いていましたが、今年度は、状況報告と照会にてご意見を頂き、サービス向上に努めています。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	介護保険課には、運営上の相談事や疑問点等、随時、助言を頂いています。行政からの研修参加も積極的に参加し、スタッフ一人ひとりのスキルアップに努めています。		

自己評価	外部評価	項 目(ユニット2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	法人全体で、「身体拘束適正化のための指針」を設け、基本的な考え方の明記と年度に2回、身体拘束の排除と虐待防止の研修を開催し、身体拘束の弊害と悪循環について理解・認識しています。玄関の施錠をせず、身体拘束を行わない事がよりよいケアに繋がると理解し、取り組んでいます。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	年度2回、「虐待防止」の研修に全スタッフが参加し、虐待の種類や早期発見の重要性を伝え、行政で開催される研修に必ず参加し、虐待を許さない風土作りに努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見人制度の利用があった利用者の事例等を共有し、個別の状況把握に努め、必要性を把握し、情報提供を行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時、利用者家族の不安や施設での生活で起こり得る事柄について説明を行い、疑問点を伺い、お伝えし、納得頂いた上で、署名・捺印頂いています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族に参加頂く行事を年6回、家族会を年1回開催しています。施設へのご意見・要望をお聞きし、サービスに反映できるように努め、頂いたご意見・要望を運営推進会議開催時に、参加者に発表していましたが、今年度は、照会で報告させて頂いています。		

自己評価	外部評価	項目(ユニット2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月の拠点会議・各ユニット会議で意見交換し、利用者の満足度向上を含め、職員のやりがいのある職場作りとして職員の意見・提案を運営に反映させるようにしています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	管理者として、職員一人ひとりの健康管理も含め、職員の勤務状態を把握、職員間の人間関係によるストレスの解消や、定期的な面談を行い、職員各自の仕事に対する役割等の環境整備にも努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	管理者として、ユニット業務に入り、職員一人ひとりのケアの力量を把握し、直接指導や外部研修の参加を促し、個々の介護技術向上に努め、介護福祉士・介護支援専門員・実践者研修の受講等を推進しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	近隣のグループホーム間でお互いの施設の見学や、業務内容を話し合う交流を推進し、勉強会等の場で交流ができるようにしてきましたが、研修会等が中止やリモートに替わってきましたので、参加を促せるよう努めています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前の本人様面談や、家族様から今までの生活、どんな事が不安なのか、どんな生活がしたいか等、じっくりとお話を伺い、傾聴し提案をしながら、関係作りに努めています。		

自己評価	外部評価	項 目(ユニット2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくり努めている。	入居申込をして頂い後、定期的に状況の確認連絡を入れ、現状の確認と困り事や不安などのお話を伺い、関係作りを行った上で、入居時には、これからご入居までの流れを説明し、分からない事を何でも聞いて頂けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人様の状況や家族様の想い等、どんなサービス利用の提案が必要か等を見極め、適切なサービス利用及びサービス提供ができるよう提案・助言に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	生活の場である環境の中で、利用者のできる事、やりたい事を無理の無い自然な形で、助け合い、お互いを尊重し合い、そんな毎日の積み重ねで信頼関係が作れるよう努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	本人様と家族様の想いを理解し、家族様へは、グループホームでの状況報告を毎月行い、認知症の進行や病状の相談をしながら、共に本人様を支える関係を築けるよう努力しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	近所の方々の面会や親戚の方々の面会等、来られた時には懐かしい昔話を一緒に聞かせて頂き、地域行事の様子を共に懐かしみながら、関係性の継続に努めています。		

自己評価	外部評価	項 目(ユニット2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様の性格や個性を把握し、コミュニケーションがスムーズにできるよう努め、毎日の朝の会、レクリエーション時に共に笑顔の時間が作れるよう努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス終了後に事務連絡含め、家族様の労を労い、入居中の振り返りと思いい出話をして、何かあればいつでもご連絡下さい。と伝えています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様の思いに耳を傾け、生活リズムを考慮しながら、本人様の思いに近づけるように努め、思いを伝えられない状況の時は、自分ならどう思うか？を考えながらスタッフ間で共有し支援しています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	在宅生活中に在宅サービスの利用があった場合、関係各所より情報提供頂き、家族様より、これまでの生活歴、生活環境、趣味等をお聞きし、グループホームでの生活に反映できるよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日常の関わりの中で、何が出来て何に困っておられるかを把握し、どんな事が好みで、どんな時に不安感を持たれるのかを観察し、情報共有に努めています。		

自己評価	外部評価	項 目(ユニット2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>計画作成担当者がアセスメントを行い、本人様・家族様の意向を踏まえ、主治医、看護職、介護職、それぞれの意見を反映し、日々の生活に合った介護計画書を作成しています。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の出来事の記録や気付きを支援経過に記入し、毎日の申し送り時に情報共有を行い、利用者様の現状に合った目標を検討し、随時、介護計画書の見直しに活かしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ウエルビィ江波の特長を活かし、グループホーム単独ではなく、館内をコミュニティと捉え、施設行事等で交流する中で、他のセグメントの意見を取り入れながら、既存のサービスに捉われない取り組みを行っています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域行事の参加に加え、近所への散歩、ドライブ等、近所にお出掛けして季節の変化を感じて頂き、江波中学校の生徒による体験学習では、生徒とのコミュニケーションを楽しむ機会がありました。今年度は、コロナウイルスから、利用者を守る事に注力しました。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>かかりつけ医は、利用者様・家族様の希望により決定し当施設のかかりつけ医は休診日以外、毎日のように往診されます。他の医療機関への受診が必要の場合は、看護師付添いによる受診も行っています。必要に応じ歯科・眼科・皮膚科・整形外科の受診の対応も行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(ユニット2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>当施設には、看護師二名の配置があり、主治医往診時の対応や、介護職員からの利用者様の変化や気づきを専門職の観点から主治医に報告・指示を受けたり、介護職への伝達を行っています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者様入院時には、グループホームでの生活状況と共に、入院に至った経緯等を介護・看護情報提供書をお送りし、安心して適切な治療ができるよう努めています。同様に退院時も、入院中の情報提供や退院後の注意点等を相談員や看護師から受け、相談ができる関係作りに努めています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>契約時に「重度化した場合の対応に関する指針」として説明し、同意を頂き、署名を頂いています。その後も、家族様・主治医・看護師・介護職と連携を取りながら、利用者様にとって、穏やかな最後を迎えられるよう支援しています。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>全職員は、年1回「緊急時の対応と応急処置」の研修を受講し、緊急時に確認書類（緊急連絡先・既往歴・服薬状況）で対応できるよう完備し、もしもに備えています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>消防署・地域住民参加でウエルビィ江波全館の避難訓練を実施しています。江波地区町内会とは、「災害時相互応援協定」を終結していますので、災害時必要物品を配置しています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(ユニット2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	年度に1回、「接遇」「認知症及び認知症ケア」「人権の尊重及び利用者のプライバシー保護」の研修を行い、常に相手の立場に立った声掛けができるよう指導しています。また、介護職員として相応しくない声掛けを許さない風土作りにも努めています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者様、一人ひとりの気持ちをお聞きしながら対応したり、押しつけにならないような声掛けを行い、思いを表現できるように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様の対応が作業にならないように、一人ひとりのペースを把握し、その日の心身の状況に合わせた支援ができるよう努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	随時、訪問理・美容があり、ヘアカラーやカットをされ、その後にお化粧品して頂くのも利用者様の楽しみになっています。毎朝の更衣時には、今日着たい服を選んで頂き、おしゃれを楽しんで頂いています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事は、館内の厨房から提供され、準備の為のテーブル拭きや食後の食器拭き等を職員と共に行い、調理レクとして、手作りおはぎやたこ焼き、パフェ、ぜんざい等を楽しんで頂いています。		

自己評価	外部評価	項 目(ユニット2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	栄養バランスは、厨房の栄養士により管理をお願いしています。水分量は、一日1500CCを目標に10:00・15:00とその間、少量ずつでも摂取量が増えるよう一人ひとりのタイミングを見ながら提供しています。状況に応じ、本人様お好みの飲み物があれば、家族様に相談しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後の口腔ケアを徹底しています。定期的に訪問歯科の診療をお願いし、口腔ケアや治療をして頂いています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	一人ひとりの排泄状況を考慮し、時間毎の声掛け・誘導・確認をする事で、清潔を保ちながら、自立できるよう支援しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	個別の排便管理と対策を取っています。牛乳・ヨーグルト・起床時の水分摂取や下肢の運動、毎日のテレビ体操を行い、便秘予防を心がけています。状況に応じ、主治医に相談し、服薬の調整を行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	曜日や回数の限定を作らず、一人ひとりのタイミングに合わせて支援を行い、状況に応じ、清潔保持ができるよう部分浴・清拭の支援ができるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項 目(ユニット2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	生活習慣や体調に合わせ、随時、 休息を取って頂いています。就寝 時間も一人ひとりに合わせて対 応し、気持ち良く安心して休ん で頂ける為の環境を作っています。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	医療機関からの処方によって服 薬の管理を二名の看護師が連携 を取りながら行っています。利用 者様の体調に変化があれば、看 護師・主治医と連携を取りなが ら、支援しています。処方内容 に変更があれば、業務日誌内に 看護師の記録を行い、介護職員 と連携を取り、変化の確認を行 っています。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	長年、主婦として家族を支えて 来られた利用者様には、洗濯た たみや洗濯干し等と一緒に頂 く事で自身の役割としてやって 下さったり、毎日のレクリエー ションの時間に脳トレや言葉遊 び、かるたや棒体操等、楽しんで 頂けるよう努めています。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける ように支援している。</p>	今年度は、コロナウイルス感染 予防の為、面会を予約制とし外 出は中止となっています。病院 受診時のみ外出可となっています ので、外出を楽しむ機会が作 れなくなっています。館内での 楽しみやレクリエーションでの 活動に力を入れ取り組んでいます。		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	金銭トラブル防止の為、基本的 には、個人での現金所持は、お 断りしています。どうしても所 持しないと不安になれる利用 者様には、家族様に了解頂き、 所持して頂きます。原則は、立 替金にて必要な支払いを行い、 毎月、月初に立替内容の報告を させて頂いています。		

自己評価	外部評価	項 目(ユニット2)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>利用者様の希望により、対応可能になっています。お孫様からの贈り物が届いたりした時にお礼の連絡をしたり、年賀状が届いた時に本人様に手渡し、読んで頂いたり、代読させて頂いています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>リビングには、季節折々の飾りつけを行い、季節感が感じられるような工夫をしています。大きなカレンダーがいつでも目に入るように置かれ、ソファやテーブル・椅子の配置で馴染みの利用者様同士の関係が保てるよう配慮しています。今の時期だと、室温・湿度にも気を配り、感染対策も行っています。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ソファの配置を工夫したり、その状況に応じて、話相手ができるように配慮しています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>各居室には、使いなれた物や大切にされてきた物を置いたり、家族様の写真を飾ったり、落ち着ける空間作りに努めています。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>転倒された場合でも、怪我を最小限にできるよう、壁にクッション材を張ったり、家具の配置を手で着ける位置に替えたりしながら、安全な移動ができるよう工夫しています。</p>		

V アウトカム項目(ユニット2) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 サンキ・ウエルビィグループホーム江波

作成日 令和3年3月31日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2	広報誌を近隣のスーパーに置かせて頂いているが、興味を持って観て頂けているのか？施設内の事が伝わっているのか？分からない。	地域の方々の馴染みの広報誌にしたい。	①広報誌の配置場所の拡大。 ②アンケートの実施。	一年
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。